

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月07日

計画の名称	安全・安心で、快適な道路空間の形成（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	津島市											
計画の目標	<p>目標1：平成27年度に路面性状調査を実施した1・2級市道の舗装を修繕することで、自動車利用者が安全で快適に利用できる道路空間の形成を目指す。</p> <p>また、津島市内のその他市道の舗装についても、将来の維持管理コストの縮減や平準化を図るため、路面性状調査を実施し修繕の計画を策定する。</p> <p>目標2：津島市が管理する市道を対象として、道路施設の損傷及び変状を早期に発見し、安全及び円滑な交通を確保するとともに、沿道や第三者への被害の防止を図り、効率的な維持管理に必要な情報を得るため、道路施設の状況を把握する。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,969	A	1,969	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	<p>・平成27年度に路面性状調査を実施した1・2級市道のうちMC15以下の道路の舗装修繕：表層打換え及び路盤打換えにより、道路環境の安全性、快適性向上を図り、整備目標延長27.8km、整備率100%を目指す。</p> <p>平成27年度に路面性状調査を実施した1・2級市道のうちMC15以下の道路の整備率の向上 $(MC15以下の道路整備率) = (MC15以下の路線の整備済延長) / (MC15以下の路線の総延長)$</p>	0%	60%	100%
2	<p>・市内の道路施設（道路照明灯、道路反射鏡、道路標識）を対象に点検を実施し、修繕計画を策定する。目標値基数2,053基、点検率100%を目指す。</p> <p>市内の道路施設（道路照明灯、道路反射鏡、道路標識）を対象に点検を実施した割合の向上 $(点検実施率(\%)) = (点検実施済みの道路施設数) / (点検が必要な道路施設数)$</p>	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	道路	一般	津島市	直接	津島市	市町村道	修繕	市道下田神尾線ほか14路線	舗装修繕(路盤打換) L=7,160m	津島市						461		策定済		
	A01-002	道路	一般	津島市	直接	津島市	市町村道	修繕	市道西愛宕愛宕1号線ほか77路線	舗装修繕(表層打換) L=16,600m	津島市							996		策定済	
	A01-003	道路	一般	津島市	直接	津島市	市町村道	計画調査	舗装点検・計画	路面性状調査 L=40,000m	津島市							12		-	
	A01-004	道路	一般	津島市	直接	津島市	市町村道	修繕	道路付属物点検・修繕	道路照明灯点検 N=1,051基 道路照明灯 N=858基	津島市							425		-	
	A01-005	道路	一般	津島市	直接	津島市	市町村道	計画調査	道路反射鏡点検	道路反射鏡点検 N=906基	津島市							65		-	
	A01-006	道路	一般	津島市	直接	津島市	市町村道	計画調査	道路標識点検	道路標識点検 N=96基	津島市							10		-	
												小計							1,969		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

津島市都市整備課職員にて実施

事後評価の実施時期

令和4年4月

公表の方法

津島市ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

対策実施した道路については、既存の道路機能を維持し安全性が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

本計画にて実施できなかった路線を社会資本整備総合交付金や公共施設等適正管理推進事業債等を活用し、適正な維持管理を行っていくとともに、舗装点検要領等に基つき点検等を行い新たに個別施設計画を策定し、計画を遂行していく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	整備率(%)=整備済延長/整備目標延長		
	最終目標値	100%	人件費・経費の上昇による事業費用が高くなったことで、事業費の確保ができなかったため、目標値に至らなかった。
	最終実績値	18%	
点検率(%)=点検済基数/点検目標値基数			
2	最終目標値	100%	目標値を達成。
	最終実績値	100%	